

ENVIRONMENTAL ACTIVITY REPORT

地域に電気と真心を。

ELECTRICITY & SINCERITY IN THE COMMUNITY.



令和5年度(R5.4～R6.3)

令和 6 年 6 月 1 日 作成

CONTENTS

- 
- 01** | ENVIRONMENTAL POLICY
環境経営方針
 - 02** | BUSINESS ACTIVITIES
事業活動の概要
 - 03** | ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS
環境経営目標とその実績
 - 04** | CONTENTS OF ENVIRONMENTAL ACTION PLAN
主要な環境活動計画の内容
 - 05** | EVALUATION OF RESULTS OF ENVIRONMENTAL ACTIVITIES
環境活動の取組結果の評価
 - 06** | VIOLATION OF ENVIRONMENTAL LAWS AND REGULATIONS
環境関連法規への違反、訴訟等の有無
 - 07** | OVERALL EVALUATION AND REVIEW RESULTS BY REPRESENTATIVE
代表者による全体評価と見直し結果

01 | ENVIRONMENTAL POLICY 環境経営方針



WHO WE ARE / ENVIRONMENTAL POLICY

青森電気工業 / 環境経営方針

環境に配慮した提案から工事施工、メンテナンス、アフターサービスまでお客様とのコミュニケーションを大切にしています。
「あなたの会社に頼んでよかった」と常に感謝していただける企業を目指しながら、
一歩ずつ着実に成長し続けます。

【環境経営理念】

青森電気工業株式会社は、美しい自然環境を次世代へ引き継ぐ為、設備工事に係る企業活動を通じて、環境活動の必要性を社員全員が認識し、環境保全体制を構築し、その実現に努めます。

また、時代のニーズに適応したサービスを心掛け、地域社会に貢献し、地域に根差した企業を目指しながら、成長を続けていきます。

【環境経営方針】

1. 企画・設計段階において、省エネルギー、高効率化等を活用し環境に配慮した商品等の提案を積極的に行います。
2. 事業活動において環境負荷の低減と環境改善を図るために次の項目について重点的に取り組みます。
 - i 二酸化炭素排出の削減
 - ii 廃棄物の排出削減及びリサイクル向上
 - iii 水使用量の抑制
 - iv 化学物質の適正管理
 - v 環境配慮製品の販売促進
3. 環境保全に関する社会の変化、技術の変化に的確に対応し、環境経営の継続的改善を推進します。
4. 環境保全に関する法規等を遵守します。
5. 地域の環境保全活動に積極的に参加します。
6. 社会の変化に対応した働き方を推進し、生産性の向上に努めます。
7. 年配と若手とのバランスの取れた年齢層の企業を目指し、技術継承や人材育成に努め、社会貢献に寄与します。
8. 全社員に環境に関する教育を行い、環境保全に関する知識の向上を図ります。
9. 環境活動レポートを社内・外に公表し、社会との環境に関するコミュニケーションを図ります。

平成21年 7月 1日 制定
令和 5年 4月 1日 第3版改定

青森電気工業株式会社
代表取締役 畑中 健一

02 | BUSINESS ACTIVITIES 事業活動の概要



BUSINESS ACTIVITIES

事業活動の概要

事業者名及び
代表者名

青森電気工業株式会社
代表取締役 畑中 健一

所在地

青森県十和田市大字三本木字稲吉121-53

営業所住所

青森県上北郡六ヶ所村大字出戸字岡畑170-3

環境管理の責任者
氏名連絡先

責任者 取締役 畑中 直美
TEL 0176-23-2546

事業内容

青森県知事許可（特-4）1067号
・電気工事業
・電気通信工事業

青森県知事許可（般-4）1067号
・土木工事業
・管工事業
・消防施設工事業

事業の規模

令和2年度（令和2年7月～令和2年7月）
売上高：451百万円
従業員：33人
延床面積：547.25㎡

事業年度

令和5年度（令和5年7月から令和6年6月まで）

レポート対象
期間及び発行日

令和5年度（令和5年4月～令和6年3月まで）
令和6年6月1日 発行

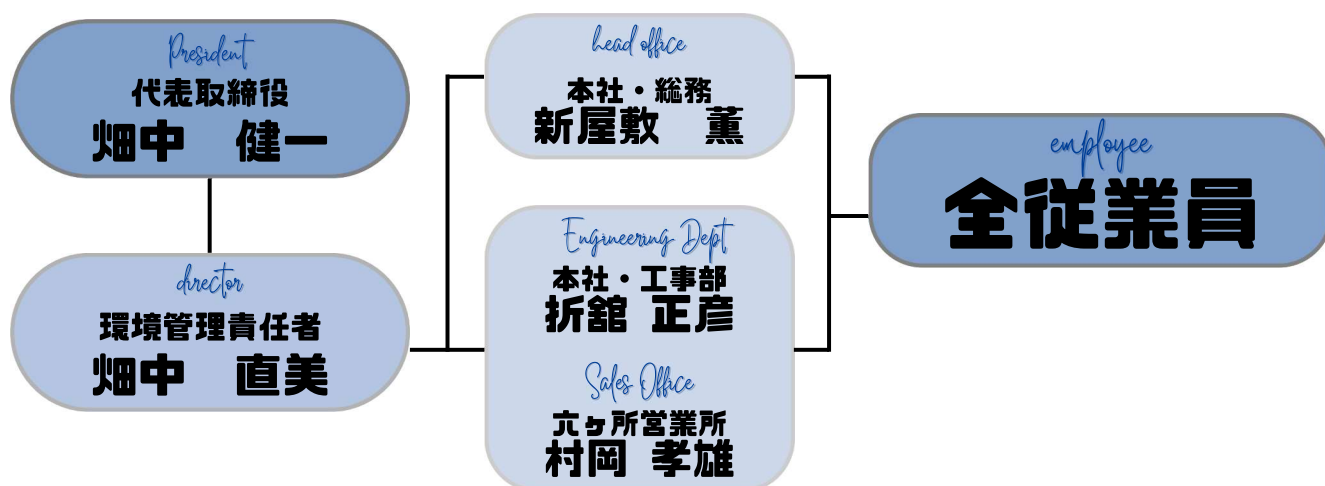
対象（認証・登録）
範囲

青森電気工業株式会社の全組織及び全活動

BUSINESS ACTIVITIES

事業活動の概要

EA21実施体制図



代表者 代表取締役 畑中 健一	- 環境経営に関する統括責任 - 環境管理責任者の任命 - 取組に対する必要な設備の設置環境管理責任者の任命及び実施体制の構築 - 環境経営方針の策定 - 経営における課題とチャンスの明確化 - 全体の評価、見直し及び指示
環境管理責任者 取締役 畑中 直美	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境目標、環境活動計画書の作成 - 代表者への報告 - 各担当の状況、把握
総務部 新屋敷 薫	- 従業員に対し、必要な教育訓練を計画し実施 - 環境方針、環境目標達成の取組の推進 - 環境負荷の自己チェック及び環境保全の取組計画 - 環境活動レポートの作成、公開
工務部 折館 正彦 六ヶ所営業所 村岡 孝雄	- 環境負荷の自己チェック及び環境保全の取組の実施 - 環境活動の実施及び是正、改善の実施 - 環境方針、環境目標の周知 - 環境活動の実施及び是正、改善計画
EA21推進委員会 従業員全員	- 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚、実施 - 環境活動へ自主的、積極的に参加 - 活動の是正や改善を提案

03 | ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

環境経営目標とその実績



ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

環境経営目標とその実績

前年度までの排出量実績

表1. 主な環境負荷等の実績

環境への負荷			単位	R2	R3	R4
エネルギー使用量	電気	全社	kWh	25,331	23,545	24,000
		本社		22,462	21,032	21,338
		六ヶ所		2,869	2,513	2,662
	灯油	全社		3,825	3,341	3,165
		本社		3,322	2,710	2,705
		六ヶ所		503	631	460
	ガソリン	全社	ℓ	21,729	20,609	22,050
		本社		15,769	14,420	13,623
		六ヶ所		5,959	6,189	8,426
	軽油	全社		40,252	33,954	33,718
		本社		32,605	27,917	28,142
		六ヶ所		7,646	6,037	5,576
	合計CO2排出量	全社	kg-CO2	178,773	157,529	160,062
		本社		142,142	124,451	123,341
		六ヶ所		36,631	33,079	36,722
廃棄物排出量	一般廃棄物		kg	2,306	2,142	2,455
	産業廃棄物			80	70	660
リサイクル			%	95	93	99.6
水使用量		全社	m³	112	126	105
		本社		106	103	95
		六ヶ所		6	23	10
化学物質			kg	0	0	0
環境配慮製品			件	48	66	66

ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

環境経営目標とその実績

環境目標の設定

表2. 環境目標

環境への負荷			単位	基準	R5	R6	R7
エネルギー使用量	電気	全社	kWh	37,766	37,011	現状把握	目標作成
		本社		33,280	32,614	現状把握	目標作成
		六ヶ所		4,486	4,396	4,307	4,217
	灯油	全社	ℓ	5,823	5,765	現状把握	目標作成
		本社		4,802	4,754	現状把握	目標作成
		六ヶ所		1,021	1,011	1,001	991
	ガソリン	全社	ℓ	43,245	42,812	42,380	41,947
		本社		28,927	28,637	28,348	28,059
		六ヶ所		14,318	14,175	14,032	13,888
	軽油	全社	ℓ	45,833	45,375	44,917	44,458
		本社		38,557	38,172	37,786	37,401
		六ヶ所		7,276	7,203	7,130	7,058
	合計CO ₂ 排出量	全社	kg-CO ₂	252,054	249,362	現状把握	目標作成
		本社		195,178	193,075	現状把握	目標作成
		六ヶ所		456,877	56,287	55,698	55,109
廃棄物排出量	一般廃棄物		kg	4,030	3,990	3,949	3,909
	産業廃棄物			2,556	2,530	2,504	2,479
リサイクル			%	95	96	97	98
水使用量		全社	m ³	185	183	現状把握	目標作成
		本社		151	149	現状把握	目標作成
		六ヶ所		34	34	33	33
化学物質			kg	0	0	0	0
環境配慮製品			件	43	47	52	56

ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

環境経営目標とその実績

当該年度の環境負荷の実績と評価

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標

環境への負荷			単位	基準値	目標値	実績	評価
エネルギー使用量	電気	全社	kWh	37,766	37,011	90,296	×
		本社		33,280	32,614	87,367	×
		六ヶ所		4,486	4,396	2,929	○
	灯油	全社	ℓ	5,823	5,765	2,732	○
		本社		4,802	4,754	2,030	○
		六ヶ所		1,021	1,011	702	○
	ガソリン	全社	ℓ	43,245	42,812	23,304	○
		本社		28,927	28,637	12,455	○
		六ヶ所		14,318	14,175	10,849	○
	軽油	全社	ℓ	45,833	45,375	35,587	○
		本社		38,557	38,172	30,485	○
		六ヶ所		7,276	7,203	5,102	○
	合計CO2排出量	全社	kg-CO2	252,054	249,362	195,024	○
		本社		195,178	193,075	153,394	○
		六ヶ所		56,877	56,287	41,630	○
廃棄物排出量	一般廃棄物		kg	4,030	3,990	2,708	○
	産業廃棄物			2,556	2,530	1,490	○
リサイクル			%	95	96	94	×
水使用量		全社	m³	185	183	204	×
		本社		151	149	193	×
		六ヶ所		34	34	11	○
化学物質			kg	0	0	0	—
環境配慮製品			件	43	47	89	○

ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

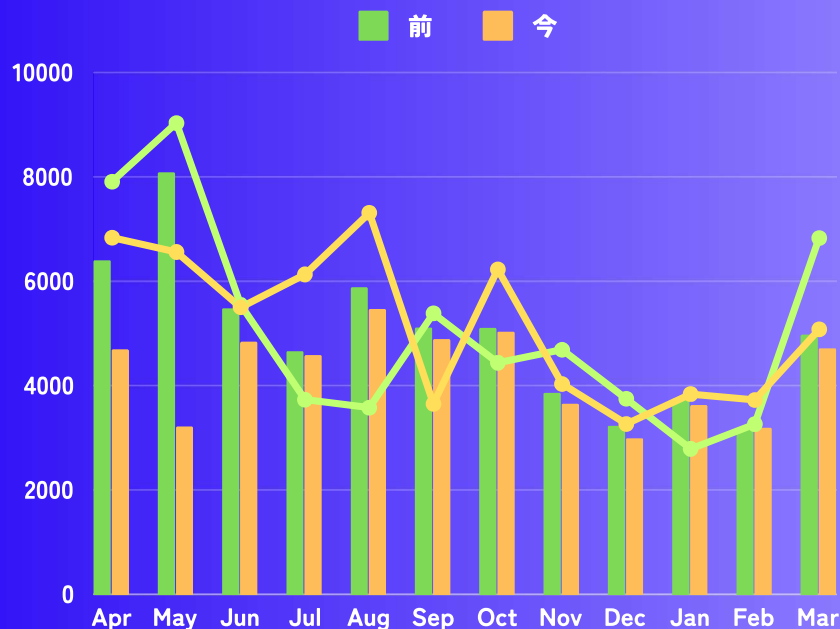
環境経営目標とその実績

当該年度の太陽光発電実績

環境活動の一環として、また環境配慮製品の販売促進のため、発電量をデータ化し、販売促進へ繋げるように顧客への検討資料に使用している。

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標

設置場所：十和田市大字相坂字高見 地内
太陽光発電パネルメーカー：Series A 49.1kW



Series A		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3	日照	237.1	270.8	166.3	111.8	107.2	161.4	133.0	140.5	112.3	83.5	97.7	204.7	1,826.3
	発電量	6397	8082	5478	4655	5879	5110	5100	3856	3226	3748	3195	4972	52,006
R4	日照	204.9	196.7	164.9	183.8	219.2	109.4	186.7	120.8	97.8	115	111.6	152.2	1,863
	発電量	6590	6255	4970	5457	6072	4138	4576	3874	2359	3008	3861	4555	55,715

ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

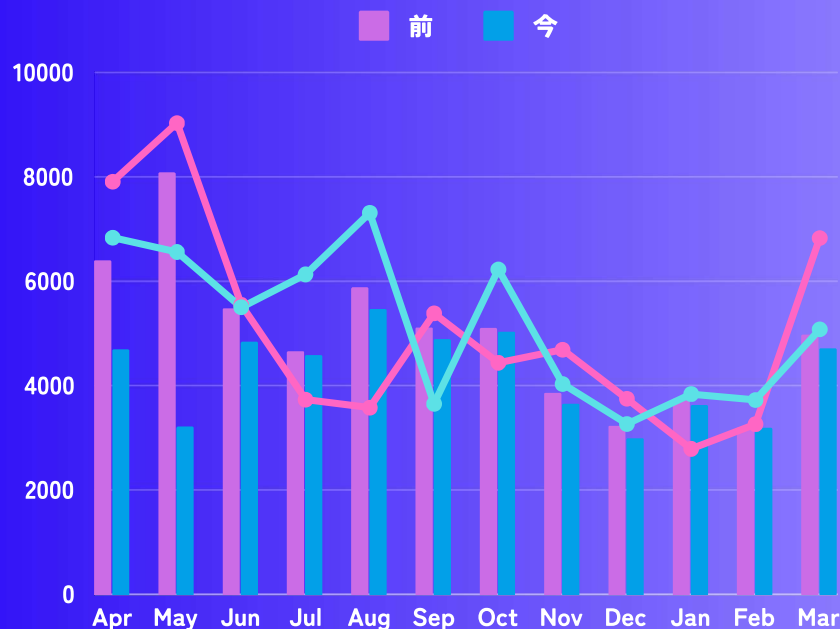
環境経営目標とその実績

当該年度の太陽光発電実績

環境活動の一環として、また環境配慮製品の販売促進のため、発電量をデータ化し、販売促進へ繋げるように顧客への検討資料に使用している。

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標

設置場所：十和田市大字三本木字野崎 地内
太陽光発電パネルメーカー：Series B 48.0kW



Series B		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3	日照	237.1	270.8	166.3	111.8	107.2	161.4	133.0	140.5	112.3	83.5	97.7	204.7	1,826.3
	発電量	6397	8082	5478	4655	5879	5110	5100	3856	3226	3748	3195	4972	52,420
R4	日照	204.9	196.7	164.9	183.8	219.2	109.4	186.7	120.8	97.8	115	111.6	152.2	1,863
	発電量	6248	5945	4936	5543	6096	4209	4643	3971	2090	2983	3881	4134	54,679

ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

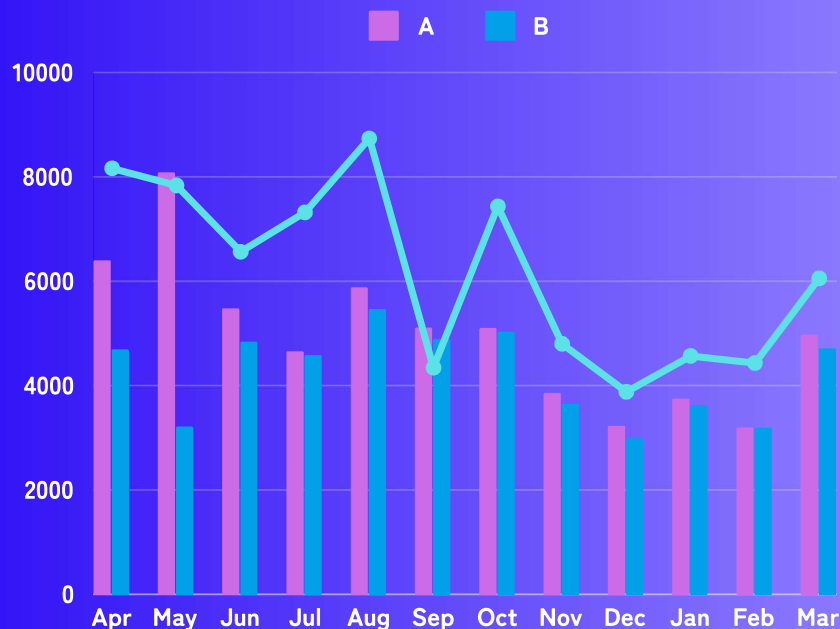
環境経営目標とその実績

当該年度の太陽光発電実績

環境活動の一環として、また環境配慮製品の販売促進のため、発電量をデータ化し、販売促進へ繋げるように顧客への検討資料に使用している。

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標

太陽光発電量：パネルメーカー毎比較表



R4	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日照	204.9	196.7	164.9	183.8	219.2	109.4	186.7	120.8	97.8	115	111.6	152.2	1,863
A	6590	6255	4970	5457	6072	4138	4576	3874	2359	3008	3861	4555	55,715
B	6248	5945	4936	5543	6096	4209	4643	3971	2090	2983	3881	4134	54,679
計	12838	12200	9906	11000	12168	8347	9219	7845	4449	5991	7742	8689	110,394

ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

環境経営目標とその実績



LED LAMP

LED外灯

構内の外灯をLEDへ変更



INDUSTRIAL WASTE

廃棄物の分別

分別を徹底することにより、リサイクル率を向上させ、産業廃棄物の削減に努める



FORKLIFT

バッテリー駆動フォークリフト

バッテリーを交換し、機体は再利用



RAINWATER

雨水の再利用

校内清掃及び車両洗車に利用



VOLUNTEER

青森県ふるさとの水辺サポーター

河川周辺の環境活動として、毎年実施



MEETING

通報・情報連絡の確認

現場での緊急対応などを再確認

04 | ENVIRONMENT

主要な環境活動計画の内容



主要な環境活動計画の内容

取り組み計画	取組内容
購入電力削減	・ クールビズ運動 ・ O A 機器・ P C などを使用していない機器の電源 O F F ・ O A 機器の省電力設定 ・ 昼食時及び不使用時の消灯 ・ 業務工程の見直しによるノー残業デーの実施
自動車燃料削減 (軽油・ガソリン)	・ 車輛の適正管理 ・ アイドリングストップ ・ 急発進・急加速・急減速・急停車の防止 ・ 早めのシフトアップ、エンジnbrakeの積極使用 ・ エアコンを控えめにし、作業中の O F F ・ 計画的な運行ルートで行動し、忘れ物を無くす
事務所内燃料削減	・ ウォームビズ運動 ・ 暖房の控えめ運転
廃棄物削減	・ 各自ごみの分別作業を心がける
リサイクル推進	・ 金属くず・電線くずの分別 ・ 廃電線有効事業活動への参加 ・ ダンボール・古紙のリサイクル率アップ（オフィス町内会へ） ・ ペットボトル・瓶・缶類等の飲料容器の分別 ・ 分別回収
化学物質適正管理	・ 建設作業現場における化学物質の使用量を適正に管理
上水使用量削減	・ 節水呼びかけ ・ 雨水利用による樹木の水やり ・ 雨水利用による構内清掃
環境配慮製品	・ 省エネ照明の販売 ・ 太陽光システム等の販売 ・ 環境配慮製品の販売

05

EVALUATION OF RESULTS OF ENVIRONMENTAL ACTIVITIES
取組結果の評価・次年度目標と取組



EVALUATION OF RESULTS OF ENVIRONMENTAL ACTIVITIES

環境活動取組結果の評価

及び次年度の目標と取り組み

令和5年4月から令和6年3月まで環境活動を実施し、環境負荷量及び環境経営目標の達成状況等の評価を行った。
今年度の取り組み結果及び評価を踏まえつつ、今後の経営状況等を鑑みて、次年度へ向けての目標と取り組みについて基準値及び目標値を下表の通りとした。

今年度取組						次年度取組			
計画	達成状況		基準比	取組内相	結果	評価	目標	基準比	内容
電力削減	基準	37,766	98%	クールビズ運動 OA機器の電源OFF 不使用時の部分消灯	2 2 2	取組されていたが、社屋工事のため未達成となった	基準	37,766	kWh 96% OA機器省電力設定 不使用時の部分消灯
	目標	37,011					目標	現状把握	
	実績	90,296							
灯油削減	基準	5,823	99%	ウォームビズ運動 暖房の控えめ運転	2 2	各々取組されていた	基準	5,823	ℓ 98% ウォームビズ運動 暖房の控えめ運転
	目標	5,765					目標	現状把握	
	実績	2,732							
ガソリン削減	基準	43,245	99%	車両の適正管理 アイドリングストップ 急発進・急加速の防止	2 1 1	省エネ運転への心掛けが必要	基準	43,245	ℓ 98% エンジンブレーキの使用 アイソンの控えめ運転 計画的な運行ルート
	目標	42,812					目標	42,523	
	実績	23,304							
軽油削減	基準	45,833	99%				基準	45,833	ℓ 98% エンジンブレーキの使用 アイソンの控えめ運転 計画的な運行ルート
	目標	45,375					目標	44,990	
	実績	35,587							
合 計 CO2排出量	基準	252,054	-				基準	252,054	kg-CO2 - 現状把握
	目標	249,362					目標	現状把握	
	実績	195,024							
一般廃棄物削減	基準	4,030	99%	分別作業	2	分別されている	基準	4,030	kg 98% 分別作業
	目標	3,990					目標	3,949	
	実績	2,708							
産業廃棄物削減	基準	2,556	99%	分別作業	2	分別されている	基準	4,030	kg 98% 分別作業
	目標	2,530					目標	2,504	
	実績	1,490							
リサイクル向上	基準	95	101%	金属・電線くずの分別 廃電線有効事業活動 ダンボール・古紙の分別	2 1 2	廃電線事業の積極的な取組必要	基準	95	% 102% ダンボール・古紙の分別 分別回収
	目標	96					目標	97	
	実績	94							
水削減	基準	185	99%	節水 雨水での樹木の水やり 雨水での構内清掃	2 1 1		基準	185	m ³ 98% 節水
	目標	183					目標	現状把握	
	実績	204							
化学物質	基準	0	-	適正な管理	-	使用する際は適正に管理する	基準	0	kg - 適正な管理
	目標	0					目標	0	
	実績	0							
環境配慮製品販売	基準	43	110%	省エネ照明の販売 太陽光システム等の販売 環境配慮製品の販売	2 2 2	環境配慮製品の販売、施工に努めている	基準	43	件 120% 省エネ照明の販売 太陽光システム等の販売 環境配慮製品の販売
	目標	47					目標	52	
	実績	66							

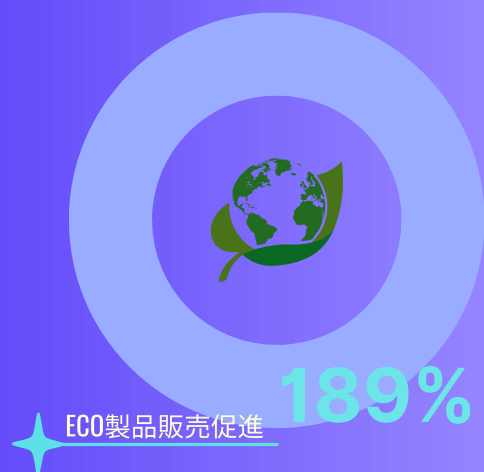
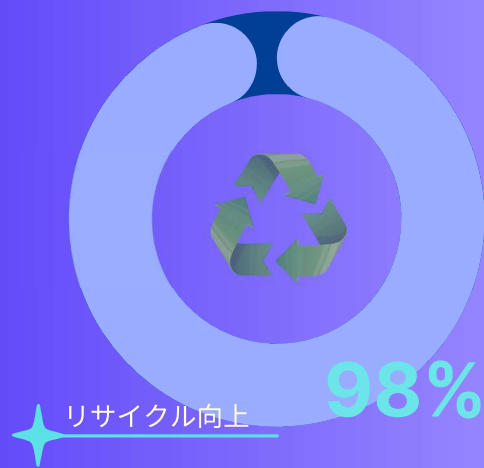
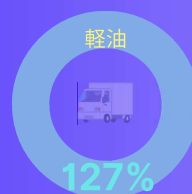
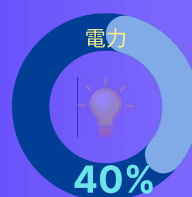
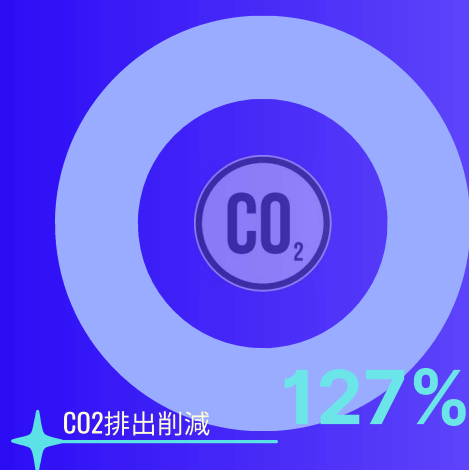
※ 評価 2：取り組んでいる 1：さらに取り組みが必要 0：取り組んでいない

ENVIRONMENTAL TARGETS AND RESULTS

環境経営目標とその実績

当該年度の環境負荷の実績と評価

当該年度の環境負荷達成率



06 | VIOLATION OF ENVIRONMENTAL LAWS AND REGULATIONS 環境関連法規への違反、訴訟等の有無





VIOLATION OF ENVIRONMENTAL LAWS AND REGULATIONS

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける廃棄物処理法など、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去３年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情及び訴訟等について、問題はありませんでした。

07 | OVERALL EVALUATION AND REVIEW RESULTS BY REPRESENTATIVE 代表者による全体評価と見直し結果



代表者による全体評価と見直し結果

今年度は新社屋建築工事に伴い購入電力及び水使用量等が削減することは難しく、逆に大幅に増加となった。

大幅増加した要因としては、事務所新築工事の現場事務所設置において本社の電力及び水を使用したことによるものである。

構内ではあるものの、新社屋へ移転するため廃棄物が大量に発生することが予想されていたため、確実な分別の徹底を周知したところ発生が抑えられたが、分別徹底したにも関わらず、リサイクル率向上には繋がらなことはできなかった。

電線くずが上十三電気工事協同組合行っている廃電線有効事業として事業所に搬入しているが、業務多忙により電線くずを纏めておくことができていなかったりと、事業所への搬入回数が減ってきていることも、リサイクル率向上できなかった大きな要因であると思っている。

指示されたから実施するのではなく、各自で考え、社員同士で話し合い、どのように意識改革を向上させていくのかを現在模索中である。

全ての活動を行う上で重要なことであるが、上手く個々の意識を改善させていくことで会社の向上にも繋がると思っているため、時間は要することと考え、急がず検討していきたい。

社屋は完成したが、次年度には倉庫及び車庫新築工事が、再来年には外構工事が控えており、環境活動も新たな気持ちで取り組んで行くことになる。現在の活動基準値は旧社屋での値となっているため、全ての工事が完成後には基準値などを改めて検討したいと考えている。

今後も気を緩めることなく、環境活動に取り組んでいきたい。

青森電気工業株式会社
代表取締役 畑 中 健 一